

## 令和4年度 県北広域振興局における施策の体系(地域振興プラン)

## I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域

- 1 多様な交流・連携により地域コミュニティを活性化します
  - (1) 働くなら北いわて、暮らすなら北いわて推進事業費【広域】
    - ① 働きやすく、安心して子供を生み育てられる環境への支援
    - ② 若者の地元就職・定着支援
    - ③ 移住定住と新規就労への支援
- 2 文化芸術・スポーツの持つ力を地域活性化へとつなげていきます
  - (1) 北いわての地域資源を活用した魅力発信事業【広域】
  - (2) 北いわて・子ども文化スポーツ体験ひろば【地経費】
- 3-1 地域における医療体制を整え、心身の健康づくりと地域で支え合う福祉の環境をつくります(保健・医療分野)
  - (1) 医療従事者の確保支援
  - (2) 自殺対策の推進
- 3-2 (介護・福祉分野)
  - (1) 妊産婦安心出産支援事業【地経費】
  - (2) 障がい者アート推進事業【地経費】
  - (3) 「おでかけi-サポ」加入促進に向けた婚活支援セミナー【地経費】

## II 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域

- 4 災害に強い社会基盤を整えます
  - (1) 地震・津波対策の推進【国庫】
  - (2) 洪水・土砂災害対策【国庫】
- 5 地域経済や暮らしを支える社会基盤を整えます
  - (1) 道路、港湾の整備【国庫】
  - (2) 交流拡大を支える道路整備【国庫】
- 6 環境を守り育てる人材を育成し、多様な主体との協働を進めながら、良好な自然環境を守ります
  - (1) 持続可能な社会の創り手育成事業【地経費】
  - (2) カシオペア連邦環境を守り育てる若手人材育成事業【地経費】
- 7 豊富な再生可能エネルギー資源を生かした持続可能な地域づくり
  - (1) 北いわて再生可能エネルギー活用推進事業費【広域】
    - ① 北いわて脱炭素先行推進事業
    - ② 洋上風力発電地域づくり研究会(仮称)の設置運営

## III 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域

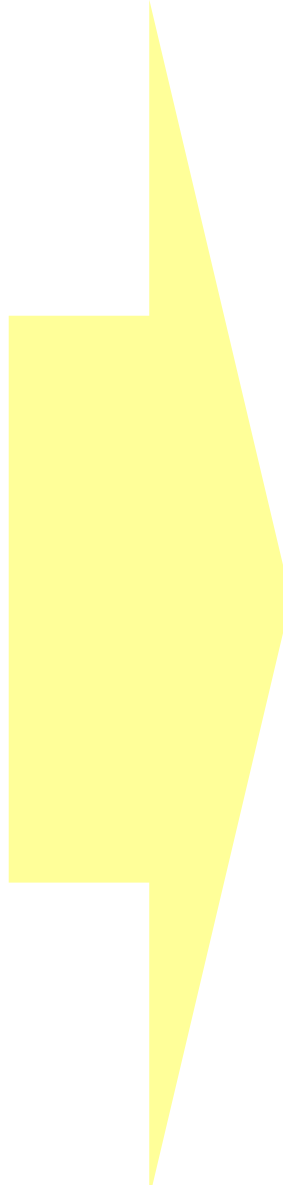
- 8 北いわての農畜産物のブランドを確立し、多様なスタイルでいきいきと暮らせる農村をつくります
  - (1) 農林水産業経営力向上支援「カイゼン塾」事業【地経費】
- 9 地域材や特用林産物の生産体制の強化と需要拡大に取り組みます
  - (1) 林業新規就業者確保支援事業【地経費】
  - (2) 林業イノベーションによる経営力向上支援事業【地経費】
- 10 担い手の確保・育成や漁業生産量の回復・向上を進めます
  - (1) 担い手育成の支援事業【地経費】
  - (2) 北いわて産業競争力強化事業費【広域】
    - ① 持続可能な水産増養殖推進事業
- 11 北いわての魅力ある食材を生かした食産業を盛んにします
  - (1) 北いわて産業競争力強化事業費【広域】
    - ① 食産業の販路拡大・情報発信支援事業
- 12 アパレル産業など高い技術力を有するものづくり産業を盛んにします
  - (1) 北いわて産業競争力強化事業費【広域】
    - ① アパレル産業の販路拡大・情報発信支援事業
- 13 隣接圏域等と連携した広域観光を進めます
  - (1) 北いわての地域資源を活用した魅力発信事業費【広域】
    - ① 御所野遺跡等観光資源連携推進事業費
    - ② 北いわて広域観光推進事業費
- 14 雇用環境の改善と若年者などの就業支援を進めます
  - (1) 働くなら暮らすなら北いわて推進事業【広域】
    - ① キャリア教育の推進
    - ② 新規学卒就職者等の職場定着支援



# 令和4年度における施策の方向性

県北広域振興局

県北圏域の現状
<b>県平均を超える人口減少</b> 直近5年間で約8%減少 【R2国調】(全県:約5%減少)  ※進学・就職をきっかけに管外転出する高卒者は9割 ※社会減では女性が約7割
<b>県平均を下回る市町村民所得</b> H30 県北 2,686千円 県平均 2,842千円  ※格差は縮小傾向にあるもののH25から連続して4広域振興圏で最下位 ※市町村内総生産の構成比は第1次産業が11%で県平均を約8%上回るが生産性は低い
<b>多様な地域資源</b> 1 御所野遺跡 2 うるし 3 金田一温泉 4 こはく、恐竜 5 あまちゃん 6 再生可能エネルギー etc...



取組の方向性
<b>1 若者・女性が活躍する地域づくり</b> ① 若者や女性が活躍できる環境づくり ② 地元定着に向けた意識啓発と就職支援 ③ 新たな担い手の呼び込みと移住定住促進
<b>2 所得向上を目指した産業振興</b> ① 特色ある産業の生産性向上 ② 地域特性の高付加価値化 ③ 地域資源の磨きあげによる交流人口の拡大
<b>3 北いわてのポテンシャルを生かした未来づくり</b> ① 再エネを生かした地域づくり ② 隣接圏域との連携拡大 ③ 多様な地域資源の伝承



# 1 若者・女性が活躍する地域づくり

今後の取組方向性	具体的な事業内容
<p>① 若者や女性が活躍できる環境づくり</p> <p>② 地元定着に向けた意識啓発と就職支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北いわて未来づくりネットワーク推進事業<sup>〔広域〕</sup>〔人口減少〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業の女性活躍、子育て支援、人材確保・育成等の取組支援</li> <li>・ 女性活躍・子育て支援などモデル事例の共有のためのセミナー開催</li> <li>・ 会員企業の採用強化・人材確保に係る研修会の開催</li> </ul> </li> <li>○ 若者の地元就職・定着促進事業<sup>〔広域〕</sup>〔人口減少〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域一体となったキャリア教育の推進を図るシンポジウムの開催、地元企業訪問ツアー等の実施</li> <li>・ 若手職員の職場定着を図るセミナーの開催</li> <li>・ 雇用のミスマッチ解消を図る職業体験の実施</li> <li>・ 中学生や高校生を対象とした企業見学会の開催</li> </ul> </li> <li>○ 県民みんなで支える岩手の地域医療推進プロジェクト事業<sup>〔県単〕</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来、県北地域で医療に従事する人材を育てるため中学生を対象とした出前講座や医療現場体験会を実施</li> </ul> </li> <li>○ 林業木材産業新規就業者確保支援事業<sup>〔地経費〕</sup>〔人口減少〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 久慈地方「木の仕事」協議会等と連携</li> <li>・ 高校生の林業体験講座等の開催と定着に向けたフォローアップの実施</li> </ul> </li> <li>○ 担い手育成の支援事業<sup>〔地経費〕</sup>〔人口減少〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規漁業就業者に対するリサーチにより就業者のニーズ・関心を把握し、受け入れ側の意識や体制を改善</li> </ul> </li> <li>○ 北いわて個性豊かな地域産業振興事業<sup>〔広域〕</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生を対象としたチキン産業に関する出前講座、文化祭等のイベント連携</li> </ul> </li> <li>○ 北いわてアパレル産業人材育成支援事業<sup>〔地経費〕</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元高校生等からのファッションデザインの募集</li> </ul> </li> </ul>
<p>③ 新たな担い手の呼び込みと移住定住促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たな地域の担い手の定着支援事業<sup>〔広域〕</sup>〔人口減少〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域おこしなんでも相談 i n 北いわて」の開催、相談後の活動等に係る事例発表会及び交流会</li> </ul> </li> <li>○ 県北地域ワーケーション施設プロモーションツアー事業<sup>〔広域新規〕</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村施設を活用したワーケーションモニターツアーの実施</li> </ul> </li> <li>○ 移住定住と新規就労への支援事業<sup>〔広域〕</sup>〔人口減少〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者のU・Iターンの促進を図るUターン経験者との交流機会の創出</li> <li>・ 企業の情報発信力、採用力の強化に係る伴走型支援<sup>〔新規〕</sup></li> </ul> </li> </ul>

## 2 所得向上を目指した産業振興

今後の取組方向性	具体的な事業内容
<p>① 特色ある産業の生産性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北いわて産業競争力強化事業<sup>〔広域新規〕</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「カイゼン」導入事例の普及・啓発</li> </ul> </li> <li>○ 林業イノベーション経営力向上支援事業<sup>〔地経費新規〕</sup> [DX] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業体に対しシステム導入効果等について普及・横展開を進め、機械・システム導入に向けて各種支援を行う</li> </ul> </li> <li>○ 浄法寺漆生漆安定供給体制整備事業<sup>〔地経費新規〕</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来にわたり生漆の安定供給を図るため漆苗木の大量生産技術の確立、育苗作業の省力化について支援</li> </ul> </li> <li>○ 県北広域藻場分布調査事業<sup>〔地経費新規〕</sup> [DX] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 餌料環境のモニタリング調査の実施により、アワビ種苗放流やウニ移植などの適切な漁場管理を推進</li> </ul> </li> <li>○ 北いわて個性豊かな地域産業振興事業（県立大学予算） [DX] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI・Iot活用等に係る県立大学との協働研究（北いわてアパレル産業振興会、県立大学と連携）</li> </ul> </li> </ul>
<p>② 地域特性の高付加価値化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほうれんそう夏期収量アップチャレンジ事業<sup>〔地経費〕</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミスト装置を活用した高温対策による夏期収量向上支援</li> </ul> </li> <li>○ アスパラガス半促成栽培実証事業<sup>〔地経費〕</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空きハウスを活用したアスパラガス半促成栽培実証による新規園芸品目の導入支援</li> </ul> </li> <li>○ 黄金のウニ収益力向上推進事業【水産振興課】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やせウニの有効利用、餌料対策のモデルづくりとその普及活動の実施</li> </ul> </li> <li>○ 持続可能な水産増養殖推進事業<sup>〔広域〕</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ギンザケ海面養殖の技術向上、生産物の地域内での活用を目指した試験販売、販売促進、ナマコ増殖試験の実施</li> </ul> </li> </ul>
<p>③ 地域資源の磨きあげによる交流人口の拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マンガを活用した三陸沿岸道路沿線の飲食店PR事業<sup>〔地経費〕</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩手県沿岸市町村及び八戸市の飲食店紹介マンガの発行</li> </ul> </li> <li>○ 御所野遺跡等観光資源連携推進事業費<sup>〔広域新規〕</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界遺産登録1周年記念イベントの開催、IGRいわて銀河鉄道と連携した誘客イベントの開催</li> <li>・ 盛岡エリアとの連携による環境、SDGsをテーマとした新たな教育旅行プログラムの創出</li> </ul> </li> <li>○ 北いわて広域観光推進事業費<sup>〔広域〕</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フォトロゲイニング大会の開催</li> <li>・ 「あまちゃん」関連商品の開発、おもてなし力向上研修による受入態勢の強化</li> </ul> </li> </ul>

### 3 北いわてのポテンシャルを生かした未来づくり

今後の取組方向性	具体的な事業内容
<p>① 再エネを生かした地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北いわて脱炭素先行推進事業 <b>広域新規</b> [グリーン] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管内市町村等との勉強会や北いわてと協定を締結している横浜市と連携した取組を実施</li> </ul> </li> <li>○ 洋上風力発電地域づくり研究会 <b>広域新規</b> [グリーン] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後導入が見込まれる洋上風力発電を地元利益に結び付けるため、利害関係者との研究会を開催</li> </ul> </li> <li>○ 県有施設への再エネ <b>新規</b> [グリーン] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の率先的取組として庁舎等へ再エネの導入</li> </ul> </li> </ul>
<p>② 隣接圏域との連携拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 御所野遺跡等観光資源連携推進事業費 <b>広域新規</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 御所野愛護少年団等と隣接する遺跡（博物館）との交流（研修、意見交換等）</li> <li>・ 隣接圏域（八戸、鹿角）や管内の縄文関連施設（漆、琥珀、工芸）と連携した周遊観光の推進</li> <li>・ 世界遺産登録1周年記念イベントの開催、I G Rいわて銀河鉄道と連携した誘客イベントの開催</li> </ul> </li> <li>○ 八戸圏域との文化・スポーツ交流・連携推進事業 <b>地経費</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八戸市や八戸学院大学と連携した文化交流、プロスポーツ団体等によるスポーツ交流</li> </ul> </li> <li>○ フードダイバーシティ支援事業 <b>地経費</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二戸市と連携した地域の事業者による取組や情報発信等への支援</li> </ul> </li> <li>○ 北いわて広域観光推進事業費 <b>事業費</b> <b>広域</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナニヤトヤラ連邦会議と連携した広域観光キャンペーンの実施</li> </ul> </li> </ul>
<p>③ 多様な地域資源の伝承</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史文化を活用した魅力発信事業 <b>広域</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 九戸政実武将隊による地域振興への取組支援、九戸城まつりの開催による活動発信</li> </ul> </li> <li>○ 北いわて子ども文化スポーツ体験広場事業 <b>地経費</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放課後子ども教室等への文化芸術団体の派遣、児童等への文化芸術イベントの開催</li> <li>・ 放課後子ども教室等へのプロスポーツ団体等派遣、</li> </ul> </li> <li>○ カシオペア地域づくり活性化推進事業 <b>地経費</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者によるカーリング活動の支援</li> </ul> </li> </ul>

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
<p>I 隣接する圏域とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域</p> <p>1 多様な交流・連携により地域コミュニティを活性化します</p>	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若年女性人口の減少や出生率の低迷、進学・県外就職等による若者流出を主な要因とした人口減少・少子高齢化が問題となっている。</li> <li>[直近5年間で約8%の人口減少(全県では約5%)]</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や関係機関など多様な主体の参画・連携により、地域コミュニティの形成支援を行う必要がある。</li> <li>・地域おこし協力隊・復興支援員など外部人材の地域への定着を図る必要がある。</li> <li>・地域の若者・女性グループが自ら行う、地域の課題解決や元気創出に資する取組を支援する必要がある。</li> </ul>	<p>1 新たな地域の担い手(地域おこし協力隊など)の活動・定着支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 働くなら北いわて、暮らすなら北いわて推進事業【広域振興事業】</li> <li>(1) 新たな地域の担い手(地域おこし協力隊、集落支援員、復興支援員)の定着支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域おこしなんでも相談in北いわて」の開催</li> <li>・ 相談後の活動等に係る事例発表会及び交流会</li> </ul> </li> </ul> <p>2 若者の歴史文化発信活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 北いわての地域資源を活用した魅力発信事業【広域振興事業】</li> <li>(1) 若者を中心とする歴史文化発信活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 九戸政実武将隊による地域振興への取組支援</li> <li>・ 九戸城まつりの開催による活動発信</li> </ul> </li> </ul> <p>3 移住促進に向けた受入体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 働くなら北いわて、暮らすなら北いわて推進事業【広域振興事業】</li> <li>(1) 県北地域ワーケーション施設プロモーションツアー事業(新規) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村施設を活用したワーケーションモニタツアーの実施</li> </ul> </li> </ul>	



## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
<p>2 文化芸術・スポーツの持つ力を地域活性化へとつなげていきます</p>	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化等により、伝統文化等の継承が難しいケースが生じている。また、感染症の影響により、演者の表現機会とともに、それらに住民の触れる機会が減少している。</li> <li>・ 令和3年7月27日、御所野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、世界遺産登録決定し、交流人口の拡大が期待される。</li> <li>・ 県内にトップ・プロスポーツチームがあるが、それらに触れる機会が本圏域では少ない。また、感染症の影響により、自らのスポーツ活動の機会も減少している。</li> <li>・ 八戸圏域との歴史的なつながりを生かすための枠組があり、文化、スポーツにおける交流を図っている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通財産として、地域の伝統文化等を次世代に引継いでいく必要がある。また、文化芸術を生かした地域活性化のための有用な資源として伝統文化等を活用していく必要がある。</li> <li>・ 縄文遺跡群のつながりを生かし、隣接圏域との多様な交流の推進に取り組む必要がある。</li> <li>・ 子どもを中心にプロスポーツに触れる機会を提供する必要がある。また、スポーツに親しむ習慣のない人を含め、ライフステージに応じたスポーツへの参加を促進する必要がある。</li> <li>・ 北緯40° ナニャトヤラ連邦会議の枠組を生かし文化スポーツの交流・連携の取組を継続していく必要がある。</li> </ul>	<p>1 文化芸術の情報発信や文化芸術に直接触れる機会の充実【地経費】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 放課後子ども教室等への文化芸術団体の派遣</li> <li>(2) 児童等への文化芸術イベントの開催</li> </ol> <p>2 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産への登録を受けた取組【広域振興事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 登録記念事業の展開 世界遺産登録1周年記念イベント等の開催</li> <li>(2) 隣接圏域等との連携 ア 御所野愛護少年団等と隣接する遺跡（博物館）との交流（研修、意見交換等） イ 隣接圏域と連携した周遊観光の促進</li> </ol> <p>3 カーリングなどの生涯スポーツの定着や競技スポーツの魅力発信【地経費】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 放課後子ども教室等へのプロスポーツ団体等派遣</li> <li>(2) 若者によるカーリング活動の支援</li> </ol> <p>4 八戸圏域との文化・スポーツに関する交流・連携の促進【地経費】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 八戸市や八戸学院大学と連携した文化交流</li> <li>(2) プロスポーツ団体等によるスポーツ交流</li> </ol>	

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
<p>3 地域における医療体制を整え、心身の健康づくりと地域で支え合う福祉の環境をつくれます</p> <p>(1)保健・医療分野</p>	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当圏域の人口割合でみた医療機関数や医療従事者数は、県平均と比較して低く、診療科も偏在するなど厳しい医療環境にある。</li> <li>当圏域の自殺死亡率は県平均より高く、自殺者数は働き盛りの男性と高齢者に多く、男性が女性の約2倍である。[自殺死亡率(2017) 圏域28.9、県平均20.9]</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関の負担を増すことなく、住民の健康水準の向上を図っていくことが必要である。</li> <li>包括的な自殺対策の推進に加えて、自殺者の多い年代を対象とした重点的な取組や、地域で自殺対策に取り組む人材の養成や見守り体制の充実が必要である。</li> <li>新型コロナウイルス感染症等の発生に備え、市町村、感染症指定医療機関及び関係団体との十分な連携のもと、地域医療体制の確保やまん延防止策の強化等健康危機管理対策の推進を図ることが必要である。</li> </ul>	<p>1 医療連携及び保健・医療・介護・福祉連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民への地域医療の情報提供</li> <li>医療機関と介護施設との連携の推進支援</li> <li>医療従事者の確保支援</li> </ul> <p>将来、県北地域で医療に従事する人材を育てるため、中学生を対象とした出前講座や医療現場体験会を実施</p> <p>2 自殺対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働き盛り世代等への支援</li> <li>自殺予防の担い手(ゲートキーパー等)養成</li> <li>被災者のこころのケアの継続 など</li> </ul> <p>3 健康危機管理対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対策の実施</li> <li>感染症発生時におけるまん延防止対策の実施</li> </ul>	

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
<p>3 地域における医療体制を整え、心身の健康づくりと地域で支え合う福祉の環境をつくれます</p> <p>(2)介護・福祉分野</p>	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに不安を抱える人や、児童虐待などによる要保護児童、子どもの貧困が増えている。</li> <li>・管内の高齢化率は、県平均よりも高くなっており、高齢化が深刻である。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てを地域で支えるための体制づくりや、児童相談支援体制の充実が必要である。</li> <li>・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し続けることができるよう「地域包括ケアシステム」の構築・深化が必要である。</li> <li>・障がい者が生活しやすい環境を整えるよう、障がい者支援施設等への指導や障がい者自立支援協議会を中心とした関係機関のネットワークの推進が必要である。</li> </ul>	<p>1 地域で支える子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 県北妊産婦安心出産支援事業【地経費】 誰もが安心して出産できるよう、管内市町村と連携して妊産婦の健診受診等に係る交通費を支援</li> <li>・「おでかけi-サポ」の加入促進に向けた婚活支援セミナー、「i-サポ登録会」及びPR活動</li> </ul> <p>2 地域で支える高齢者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの構築等に係る広域連合及び市町村への支援</li> <li>・介護予防従事者等のスキルアップ研修会及び市町村や地域包括支援センター等棟との情報交換会の開催など</li> </ul> <p>3 障がい者の自立生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 障がい者アート推進事業【地経費】</li> <li>・創作・表現活動支援等に関する研修会や作品展示の開催 など</li> </ul>	

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
<p>Ⅱ 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域</p> <p>4 災害に強い社会基盤を整えます</p>	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、全国で局地的豪雨や台風に伴う災害が多発しており、洪水・土砂災害による被害を軽減するための施設の整備が求められている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民の防災意識の向上を図り、災害時の的確な行動を確保する必要がある。</li> <li>災害が発生した際の緊急輸送道路の確実な通行を確保するため、管理施設の耐震化が必要である。</li> </ul>	<p><b>1 洪水・土砂災害対策、橋梁耐震化</b></p> <p>河道掘削や河川改修の推進、洪水災害に対する安全度の向上、緊急輸送道路の確実な通行確保の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川事業（安比川、小屋畑川、沢川）【国庫】</li> <li>砂防事業（普代の沢）【国庫】</li> <li>ソフト対策（土砂災害区域等の周知と2巡目調査の推進）</li> <li>橋梁耐震化事業（一般国道395号・猿越橋）【国庫】</li> </ul> <p><b>2 防災対策の強化</b></p> <p>住民の防災意識の向上等のための啓発活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>津波防災出前講座の開催</li> </ul>	

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
<p>5 新しい交通ネットワークを中心に、地域経済や暮らしを支える社会基盤を整えます</p>	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三陸沿岸道路は、令和2年3月に久慈北道路の開通、令和2年12月に洋野種市IC～階上IC間及び普代IC～田野畑北IC間の開通、令和3年3月に洋野階上道路が開通し、令和3年内には全線開通が予定されている。</li> <li>・復興支援道路及び復興関連道路を中心とした幹線道路については、災害時の救助、救援活動、緊急輸送物資の運搬などを迅速かつ的確に行うために整備を推進している。</li> <li>・都市計画道路荒瀬上田面線の岩谷橋は令和3年10月に第1期工事が完成し供用を開始した。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産業を支える物流の効率化を図るため、拠点施設等を結ぶ道路の整備を推進する必要がある。</li> <li>・三陸沿岸道路を活用した人的交流の活発化が期待されることから、県際道路や観光地へ通じる道路など地域間の交流人口拡大につながる道路の整備を推進する必要がある。</li> <li>・全国的に通学中の児童や高齢者が交通事故にあって事例が多発していることから、児童や高齢者を交通事故から守るため、歩道整備の推進が必要である。</li> <li>・都市部において都市機能の強化と良好な市街地形成のため、街路の整備や土地区画整理に取り組み、整備を推進する必要がある。</li> </ul>	<p>1 物流の効率化を支える道路、港湾の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 一般国道281号(久慈市・案内～戸呂町口地区) 【国庫】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地測量及び用地補償の推進</li> </ul> </li> <li>② 一般国道395号(久慈市～洋野町・阿子木地区) 【国庫】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地測量の発注・推進</li> </ul> </li> <li>③ 一般県道二戸軽米線(新町地区) 【国庫】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地補償の推進</li> </ul> </li> <li>④ 主要地方道二戸五日市線(柿ノ木平地区) 【国庫】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地補償調査の発注・推進</li> </ul> </li> </ul> <p>2 圏域内外の交流拡大を支える道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 一般県道普代小屋瀬線(普代村・上普代地区) 【国庫】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良舗装工事の推進</li> </ul> </li> </ul> <p>3 歩道整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 一般国道340号(長興寺地区) 【国庫】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地補償調査の発注・推進</li> </ul> </li> </ul> <p>4 都市計画道路整備の推進</p> <p>定住環境の改善を図るための都市計画道路整備等の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 都市計画道路荒瀬上田面線 岩谷橋地区整備 【国庫】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の推進</li> </ul> </li> <li>② 都市計画道路上野西法寺線 高善寺地区整備 【国庫】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地補償の推進</li> </ul> </li> </ul>	

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
<p>6 環境を守り育てる人材を育成し、多様な主体との協働を進めながら、良好な自然環境を守ります</p>	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな環境を保全し、次世代につないでいくための、環境を守り育てる人材の不足が予想される。</li> <li>・青森県境産業廃棄物不法投棄事案の発生から約20年が経過し、教訓の風化が進んできている。</li> <li>・犬の捕獲率が高く、返還率が低い傾向にある。また、多頭飼育が散見され適正飼養の意識が低い。</li> </ul> <p>[捕獲率：県北0.75%、県0.34%] [返還率：県北32.7%、県56.9%]</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな環境を保全し、次世代につないでいくため、特に若年層への意識啓発など環境を守り育てる人材を育成する必要がある。</li> <li>・青森県境産業廃棄物不法投棄事案の発生から約20年が経過しており、風化させず教訓として後世に伝える必要がある。</li> <li>・飼い主が動物を適正に飼養し、動物の存在が地域の人々に受け入れられるよう、人と動物が共存する社会づくりに努める必要がある。</li> </ul>	<p>1 環境を守り育てる人材の育成</p> <p>(1) [久慈] 持続可能な社会の創り手育成事業【地経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境保全等を題材とした講演会及び意見交換会の開催 (継続)</li> <li>② 中高生向け環境業務セミナーの開催 (継続)</li> </ul> <p>2 青森県境不法投棄事案への対応</p> <p>(1) [二戸] カシオペア連邦環境を守る若手人材育成事業【地経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 環境フェスティバルの開催 (継続)</li> <li>② 高校生を対象とした県境不法投棄事案の出前授業 (継続)</li> </ul> <p>3 動物愛護・適正飼養の推進</p> <p>(1) [久慈・二戸] 県北地域における動物愛護思想普及啓発事業【地経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 譲渡の推進 (譲渡会の開催等) (継続)</li> <li>② 動物愛護管理普及啓発 (犬のしつけ教室の開催等) (継続)</li> </ul>	

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
7 豊富な再生可能エネルギー資源を生かした循環型の地域づくりに取り組めます	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管内では、太陽光発電や風力発電等の設置や洋上風力発電の調査、バイオマスの利用などの取組が進められている。</li> <li>令和元年に、北いわて9市町村が合同で「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」宣言を行い、令和2年には脱炭素社会の実現と経済活性化の両立を目指し、「北岩手循環共生圏」を結成した。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国では、令和2年に「2050年カーボンニュートラル」を宣言しており、その実現に向けた取組が必要である。</li> <li>県北地域の豊富な再生可能エネルギーの導入ポテンシャルを地域振興に活かす取組が必要である。</li> </ul>	<p>1 再生可能エネルギーを生かした地域振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*北いわて再生可能エネルギー推進事業【広域振興事業】(新規) [グリーン]</li> <li>(1) 北いわて脱炭先行推進事業 管内市町村等との勉強会や北いわてと協定を締結している横浜市と連携した取組を実施。</li> <li>(2) 洋上風力発電地域づくり研究会(科学・情報政策室) 今後導入が見込まれる洋上風力発電を地元利益に結び付けるため、利害関係者との研究会を開催。</li> </ul> <p>2 県有施設への再エネ導入(新規) (環境生活企画室) [グリーン] 県の優先的取組として庁舎等へ再エネの導入。</p>	

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
<p>Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域</p> <p>8 北いわての農畜産物のブランドを確立し、多様なスタイルでいきいきと暮らせる農村をつくります</p>	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化等の影響により農業経営体は減少している。 [農業経営体数 H27:67千経営体 →R2:39千経営体]</li> <li>主力園芸品目の生産振興に関係機関・団体が協力して取り組んだことで、園芸販売額は増加している。 [園芸販売額 H29:375百万円 →R2:426百万円]</li> <li>一戸町御所野遺跡の世界遺産登録によって県外からの来客数の増加が見込まれる。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな就農者の確保と産地をけん引する経営体の育成が必要である。</li> <li>新たな生産技術の導入等により、一層の生産性・収益性の向上が必要である。</li> <li>観光客増を見据えて魅力ある商品の開発や接客等による県北地域のファン確保の取組が必要である。</li> </ul>	<p>1 経営感覚に優れた経営体や新規就農者等の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農林水産業経営力向上支援「カイゼン塾」事業【地経費】新規 「カイゼン」導入事例の普及・啓発</li> <li>農業担い手チャレンジ支援事業【地経費】 スマート農業技術導入等の新たな取組の促進モデル経営体の確保・育成</li> <li>鶏糞を熱源とする大規模園芸施設整備支援(軽米町) [グリーン]【産地パワーアップ事業】新規</li> </ul> <p>2 高度な生産技術や安全・安心を確保する取組等の導入・普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほうれんそう夏期収量アップチャレンジ事業【地経費】 ミスト装置を活用した高温対策による夏期収量向上支援</li> <li>アスパラガス半促成栽培実証事業【地経費】 空きハウスを活用したアスパラガス半促成栽培実証による新規園芸品目の導入支援</li> <li>スマート果樹栽培推進事業【地経費】 新規 果樹栽培のスマート農業技術の実演による普及啓発</li> <li>地域内資源有効活用事業【地経費】 新規 未利用豚ふんの水田への利用実証による地域内資源の有効活用</li> </ul>	



3 地域ぐるみの活動を通じた魅力ある農村づくりや交流の  
推進

- ・ 御所野遺跡等をテーマにした産直の商品開発等支援事業  
【地経費】  
商品開発や接客スキル改善等の支援
- ・ フードダイバーシティ支援事業【地経費】  
二戸市と連携した地域の事業者による取組や情報発信等  
への支援

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
9 地域材や特用林産物の生産体制の強化と需要拡大に取り組めます	<p><b>1 林業経営体の育成と担い手の確保</b></p> <p>&lt;現状&gt; 林業就業者の高齢化により、就業者数が減少している。</p> <p>【林業就業者数】 H28：280人→R1：223人</p> <p>&lt;課題&gt; 新規就業者の確保と就業後の定着に向けたフォローアップが必要。</p>	<p><b>1 林業木材産業新規就業者確保支援事業</b></p> <p>【地経費】新規 [人口減少]</p> <p>事業概要：久慈地方「木の仕事」協議会等と連携して、新規就業者確保に向けた取組（高校生の林業体験講座等の開催）と定着に向けたフォローアップの実施。</p>	
	<p><b>2 森林整備の推進と地域材の販路拡大</b></p> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業現場の進捗状況については、紙ベースの日誌で報告されており、林地の境界管理も紙ベースの図面で行われている。</li> <li>林業の生産現場では、ウッドショックの影響により、外材の代替としてアカマツ材の需要が急増している。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人員、機械配置や作業進捗管理など生産管理体制、境界等資源管理体制が不十分であるため、ICTやGNSS等を活用したスマート林業を導入し業務効率化が必要。</li> <li>アカマツ材需要に対応するため、地域の木材加工事業体が供給可能な製材品などを整理した販促ツールが必要。</li> </ul>	<p><b>1 林業イノベーション経営力向上支援事業</b></p> <p>【地経費】新規 [DX]</p> <p>事業概要：事業体に対しシステム導入効果等について普及・横展開を進めるとともに、機械・システム導入に向けて各種支援を行う。</p> <p><b>2 アカマツ販売チャンネルの新規開拓促進事業</b></p> <p>【地経費】継続</p> <p>事業概要：木材商社や地域事業体との連携による販売チャンネルの開拓等の取組を支援。</p>	

	<p><b>3 特用林産物の生産・販売促進</b>  <b>&lt;現状&gt;</b>      県北圏域は、本県を代表する木炭、乾しいたけ、生漆等の特用林産物の生産が盛んで、質・量とも国内有数の産地であるが、生産者の高齢化や後継者不足により生産量が減少している。</p> <p><b>&lt;課題&gt;</b></p> <p><b>①乾しいたけ</b>      岩手県産原木乾しいたけの市場価格は、原発事故に伴う風評被害の発生以降、価格低迷が続いており、生産意欲向上のため、質の高い乾しいたけを消費者に届ける販売促進活動等の取組が必要。</p> <p><b>【乾しいたけ生産量】</b>      H22：68t→R2：46t</p> <p><b>②木炭</b>      県北地域における木炭生産量は、県内の9割、全国の3割を占め、県北地域の林業生産額の2割を占める重要な産業となっており、生産価格の安定や販路開拓など、生産者が安定的に経営できる体制づくりへの支援が必要。</p> <p><b>【木炭生産量】※粉炭含まず</b>      H22：3,362t→R2：1,894t</p> <p><b>③生漆</b>      文化財修復向けのウルシ供給量は目標を下回っており、漆資源の確保、苗木の供給等漆資源の供給体制の確立が求められている。</p> <p><b>【生漆生産量】</b>      H22：1.2t→R2：1.5t</p>	<p><b>1 久慈地方産原木乾しいたけ販売促進対策事業</b>  <b>【地経費】組替新規</b>      事業概要：久慈地域の食材の輸出や首都圏への出荷に取り組む地元の販売事業体と連携し、海外や首都圏でのPR活動や販売促進活動等を実施。</p> <p><b>2 北いわて木炭販路拡大総合対策事業</b>  <b>【地経費】組替新規</b>      事業概要：生産者団体（北いわて木炭産業振興協議会）による地理的表示保護制度（GI）を活用した「岩手木炭」の販路拡大に向けた取組を支援。</p> <p><b>3 浄法寺漆生漆安定供給体制整備事業</b>  <b>【地経費】組替新規</b>      事業概要：将来にわたり生漆の安定供給を図るため、漆苗木の大量生産技術の確立、育苗作業の省力化について支援。</p>	
--	---	---	--

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局水産部)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
10 担い手の確保・育成と漁業生産量の回復・向上を進めます	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管内8漁協の正組合員数は1,662人(R2)で、震災以前の2,159人(H21)と比べ23%減少</li> <li>ウニ、アワビの餌となる天然海藻の生育が不安定</li> <li>秋サケの水揚量は587トン(R2)で、震災前の4,745トン(H20~22平均)と比べ88%減少</li> <li>コロナ禍により流通経路が変化</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規漁業就業者の確保、育成に向け、定置網等受入れ側の体制づくりが必要</li> <li>やせウニの有効活用が必要</li> <li>ウニ、アワビの増産に向け、餌料環境の把握とバランスのとれた資源造成が必要</li> <li>ギンザケ海面養殖の生産の安定化と事業の効率的な運用、ギンザケを活用した地域活性化の推進が必要</li> <li>アフターコロナを見据えた水産物や加工品のPR、販売戦略が必要</li> <li>今後想定される地震、津波に対して、事前の対策を講じるほか、効率的かつ効果的な漁港施設の更新を図ることが必要</li> </ul>	<p>1 担い手育成の支援事業【地経費】[人口減少] 新規漁業就業者に対するリサーチにより、就業者のニーズ・関心を把握し、受け入れ側の意識や体制を改善</p> <p>2 黄金のウニ収益力向上推進事業【県事業】 やせウニの有効利用、餌料対策のモデルづくりとその普及活動の実施</p> <p>3 県北広域藻場分布調査事業【地経費】新規[D X] 広域的な餌料環境のモニタリング調査の実施により、餌料環境を考慮したアワビ種苗放流やウニ移植など、適切な漁場管理を推進</p> <p>4 持続可能な水産増養殖推進事業【広域振興事業】 ギンザケ海面養殖の技術向上、生産物の地域内での活用を目指した試験販売、販売促進、ナマコ増殖試験の実施</p> <p>5 久慈地域水産物流通りカバリー事業【地経費】新規 量販店に対する販路回復・新規開拓のための試験販売、商談等の営業活動支援、SNSによる水産加工業の情報発信、水産加工品蔵出し市の開催</p> <p>6 水産物供給基盤機能保全事業【国事業】 地元のニーズに沿った、計画的な漁港整備を実施</p>	

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考										
<p>11 北いわての魅力ある食材を生かした食産業を盛んにします</p>	<p>&lt;現状&gt;            1 県北圏域の食料品製造出荷額は、令和元年では796億円と県全体の20.4%を占めている。県北圏域の製造業全体の中で、従業者数で51.0%、製造品出荷額で61.6%を占めており、地域経済と雇用を支える重要な産業となっている。            2 県北圏域高卒者の管内就職率(R2)は、37.7%で他圏域に比べて低位である。</p> <p style="text-align: center;">県北圏域高卒者の管内就職率 (単位%)</p> <table border="1" data-bbox="506 842 1048 916"> <thead> <tr> <th></th> <th>盛岡局</th> <th>県南局</th> <th>沿岸局</th> <th>県北局</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>56.6</td> <td>67.5</td> <td>56.3</td> <td>37.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(データ：いわてで働く推進本部会議資料)            3 新型コロナウイルスの影響調査(経営支援課実施)によると、経営への影響について「影響が継続している」78.8%、飲食業では99%という結果が出ている。</p> <p>&lt;課題&gt;            1 主要なプロイラー産業を除くと、食産業事業者の多くは小規模・零細経営であるため、顧客ニーズに応じた商品開発や販路開拓、人材の育成・確保など、事業者に応じた支援が必要である。            2 北いわての商品の認知度は年々高まっているが、地域内外における消費拡大を一層促進するためには、より効果的な情報発信が必要である。</p>		盛岡局	県南局	沿岸局	県北局	R2	56.6	67.5	56.3	37.7	<p>1 事業者の経営課題に応じた支援</p> <p>① 北いわて産業競争力強化事業【広域振興事業】</p> <p>ア 北いわて地域産業成長促進支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管内事業者へのトヨタ式カイゼンの導入、生産性の向上支援(新規)</li> </ul> <p>イ 北いわて個性豊かな地域産業振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北いわて食産業支援体制の強化のための食産業コーディネーターの設置</li> </ul> <p>② 北いわての食産業魅力づくり推進事業【地経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家によるテーマ別講座や意見交換会の開催など食品加工業者の総合支援の促進</li> </ul> <p>2 北いわて食材の認知度向上</p> <p>① 北いわて産業競争力強化事業【広域振興事業】</p> <p>ア 北いわて個性豊かな地域産業振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元飲食店等と連携したチキン産業の理解促進、イメージアップを図る情報発信の実施(新規)</li> </ul> <p>② 北いわて食産業魅力づくり推進事業【地経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IGRとの連携による、県北地域の食、自然、文化を取り上げた情報発信及び周遊促進事業</li> </ul> <p>③ マンガを活用した三陸沿岸道路沿線の飲食店PR事業【地経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩手県沿岸市町村及び八戸市の飲食店紹介マンガの発行</li> </ul>	
	盛岡局	県南局	沿岸局	県北局									
R2	56.6	67.5	56.3	37.7									

	<p>3 若年層の流出が多い県北地域では、チキン産業をはじめ地域の主要産業となっている食産業の担い手確保に向けた取組が必要である。</p> <p>4 新型コロナウイルスにより売上が減少するなど影響を受けている事業者の経営回復に向けた支援が必要である。</p>	<p><b>3 食産業を担う人材の育成</b></p> <p>① 働くなら北いわて、暮らすなら北いわて推進事業【広域振興事業】</p> <p>ア 若者の地元就職・定着促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学生や高校生を対象とした企業見学会の開催</li> </ul> <p>② 北いわて産業競争力強化事業【広域振興事業】</p> <p>ア 北いわて個性豊かな地域産業振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生を対象としたチキン産業に関する出前講座、文化祭等のイベント連携</li> </ul>	
		<p><b>4 新型コロナウイルスの影響を受けた事業者への支援</b></p> <p>① 北いわて産業競争力強化事業【広域振興事業】</p> <p>ア 北いわて個性豊かな地域産業振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北いわて食産業支援体制の強化のための食産業コーディネーターの設置</li> </ul> <p>② 北いわての食産業魅力づくり推進事業【地経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県北地域の飲食店等が開催するイベント等の経費補助</li> </ul>	

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
12 アパレル産業など高い技術力を有するものづくり産業を盛んにします	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県北圏域の製造品出荷額（食料品製造業を除く。）は、震災以降、増加傾向にあり、令和元年には496億円を計上、全県に占める割合は2.2%である。</li> <li>・ 一方、繊維工業品（アパレル関連）の製造品出荷額は、43億円で全県の15.8%を占め、従業者数も県北圏域内製造業の14.3%を占めている。</li> <li>・ 平成29年に、地場企業の業容拡大も支援対象とする「地域未来投資促進法」が施行され、県北局管内では、6社が地域経済牽引事業計画の承認を受けている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アパレル関連産業は、受託生産中心の事業者が多いため、安定的な受注の確保や認知度向上などの経営課題を抱えている。</li> <li>・ 少子・高齢化や人口の社会減などによる人手不足が深刻化していることから、次世代を担う人材の育成が必要となっている。</li> <li>・ 地域の特性を生かした、新たな成長分野に挑戦し、地域経済を牽引していく企業への支援が必要となっている。</li> </ul>	<p>1 企業の経営課題に応じた支援</p> <p>(1) 北いわて産業競争力強化事業【広域振興事業】</p> <p>ア 北いわて地域産業成長促進支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収益力向上に向けた先進事例セミナーの開催</li> </ul> <p>イ 北いわて個性豊かな地域産業振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI・IoT活用等に係る県立大学との協働研究（北いわてアパレル産業振興会、県立大学と連携）（県立大学予算）【DX】</li> </ul> <p>2 地域の特徴的な産業の振興</p> <p>(1) 北いわて産業競争力強化事業【広域振興事業】</p> <p>ア 北いわて個性豊かな地域産業振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アパレル関連見本市等への出展</li> <li>・ 学生デザインファッションショーの開催</li> </ul> <p>(2) 北いわてアパレル産業人材育成支援事業【地経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元高校生等からのファッションデザインの募集</li> </ul> <p>3 地域の特性を生かした事業活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域未来投資促進法、経営革新計画等の制度周知、策定支援</li> </ul>	

## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考
13 隣接圏域等を連携した広域観光を進めます	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県北圏域への観光入込客数(延べ人数)は、連続テレビ小説「あまちゃん」が放映された平成25年をピークに減少傾向にあり、平成29年には震災前の水準を下回り、令和2年には新型コロナウイルス感染症拡大の影響も重なり、大きく減少している。</li> </ul> <p>県北の観光入込客数(延べ人数)</p> <p>H22:287万人回、H25:336万人回、H29:272万人回、R2:171万人回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年7月27日、御所野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、世界遺産登録決定。三陸沿岸道路も令和3年度内に全線開通予定であることから、観光客を含めた人的交流の活発化が期待される。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交流人口の拡大に向けて、県北圏域の自然、歴史・文化、伝統、食など地域資源の魅力を圏域内外に発信していく必要がある。</li> <li>御所野遺跡の世界遺産登録や三陸沿岸道路等を生かした誘客促進に向け、受入態勢の強化及び人材の育成が必要である。</li> <li>歴史的・文化的につながるの深い隣接圏域等と連携し、より広域的な観光ルートを構築する必要がある。</li> </ul>	<p>1 特色ある地域資源を活用した観光の推進</p> <p>(1) 北いわての地域資源を活用した魅力発信事業</p> <p>【広域振興事業】</p> <p>ア 御所野遺跡等観光資源連携推進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産登録1周年記念イベントの開催</li> <li>IGRいわて銀河鉄道と連携した誘客イベントの開催(新規)</li> </ul> <p>イ 北いわて広域観光推進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フォトロゲイニング大会の開催</li> </ul> <p>2 受入態勢の強化及び観光を担う人材の育成</p> <p>(1) 北いわての地域資源を活用した魅力発信事業</p> <p>【広域振興事業】</p> <p>ア 御所野遺跡等観光資源連携推進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡エリアとの連携による環境、SDGsをテーマとした新たな教育旅行プログラムの創出(新規)</li> </ul> <p>イ 北いわて広域観光推進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「あまちゃん」関連商品の開発、おもてなし力向上研修による受入態勢の強化</li> </ul> <p>3 広域連携の強化及び情報発信による誘客の促進</p> <p>(1) 北いわての地域資源を活用した魅力発信事業</p> <p>【広域振興事業】</p> <p>ア 御所野遺跡等観光資源連携推進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>隣接圏域(八戸、鹿角)や管内の縄文関連施設(漆、琥珀、工芸)と連携した周遊観光の推進</li> </ul> <p>イ 北いわて広域観光推進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ナニヤトヤラ連邦会議と連携した広域観光キャンペーンの実施</li> </ul>	



## 令和4年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(県北広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和4年度の具体的な事業内容	備考										
14 雇用環境の改善と若年者などの就業支援を進めます	<p>&lt;現状&gt;</p> <p>1 少子・高齢化の進行や若者の社会減による生産年齢人口の減少等により、人手不足が恒常化している。</p> <p>〔有効求人倍率 (R3.8月) : 久慈1.12倍 二戸1.26倍〕</p> <p>2 アパレル産業や食産業など女性就労者の比率の高い企業が地域経済を支える重要な産業となっている。</p> <p>〔従業者男女割合 (2019) : 〈食料品〉男34.7%、女65.3% 〈織 維〉男11.0%、女89.0%〕</p> <p>県北圏域高卒者の管内就職率 (単位%)</p> <table border="1" data-bbox="376 842 891 911"> <thead> <tr> <th></th> <th>盛岡局</th> <th>県南局</th> <th>沿岸局</th> <th>県北局</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>56.6</td> <td>67.5</td> <td>56.3</td> <td>37.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(データ: いわてで働こう推進本部会議資料)</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>1 人手不足解消のためには、雇用・労働環境の改善や労働生産性の向上に向けた取組が必要である。</p> <p>2 他圏域と比較し、若年者の地元企業への就職が少ないことに加え、新規高卒者の早期離職率も低くないことから、地元定着に向けたキャリア教育の取組を関係者が一体となって、進めていくことが必要である。</p> <p>3 進学率の高まりに伴い管外へ流出した若者のUターンの促進、受け皿となる企業の情報発信力、採用力強化に向けた取組が必要である。</p>		盛岡局	県南局	沿岸局	県北局	R2	56.6	67.5	56.3	37.7	<p>1 働き方改革の促進等による雇用・労働環境の改善</p> <p>(1) 働くなら北いわて、暮らすなら北いわて推進事業</p> <p>【広域振興事業】</p> <p>ア 働きやすく、安心して子供を生み育てられる環境への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県北の産学官及び異業種で構成する「北いわて未来づくりネットワーク」を核とした企業の女性活躍、子育て支援、人材確保・育成等の取組支援</li> <li>・ 女性活躍・子育て支援などモデル事例の共有のためのセミナー開催</li> <li>・ 会員企業の採用強化・人材確保に係る研修会の開催</li> </ul>	
	盛岡局	県南局	沿岸局	県北局									
R2	56.6	67.5	56.3	37.7									
		<p>2 関係機関との連携による若者の地元就職や職場定着の促進</p> <p>[人口減少]</p> <p>(1) 働くなら北いわて、暮らすなら北いわて推進事業</p> <p>【広域振興事業】</p> <p>ア 若者の地元就職・定着促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域一体となったキャリア教育の推進を図るシンポジウムの開催や、地元企業訪問ツアー等の実施</li> <li>・ 若手職員の職場定着を図るセミナーの開催</li> <li>・ 雇用のミスマッチ解消を図る職業体験の実施</li> </ul> <p>イ 移住定住と新規就労への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者のU・Iターンの促進を図るUターン経験者との交流機会の創出</li> <li>・ 企業の情報発信力、採用力の強化に係る伴走型支援(新規)</li> </ul>											